

きた なみ ひら 北 波 平

方言名 ハンジャ

世帯数 227世帯（2010年12月末現在）

面 積 0.89km²

人 口 618人（男317人 女301人）

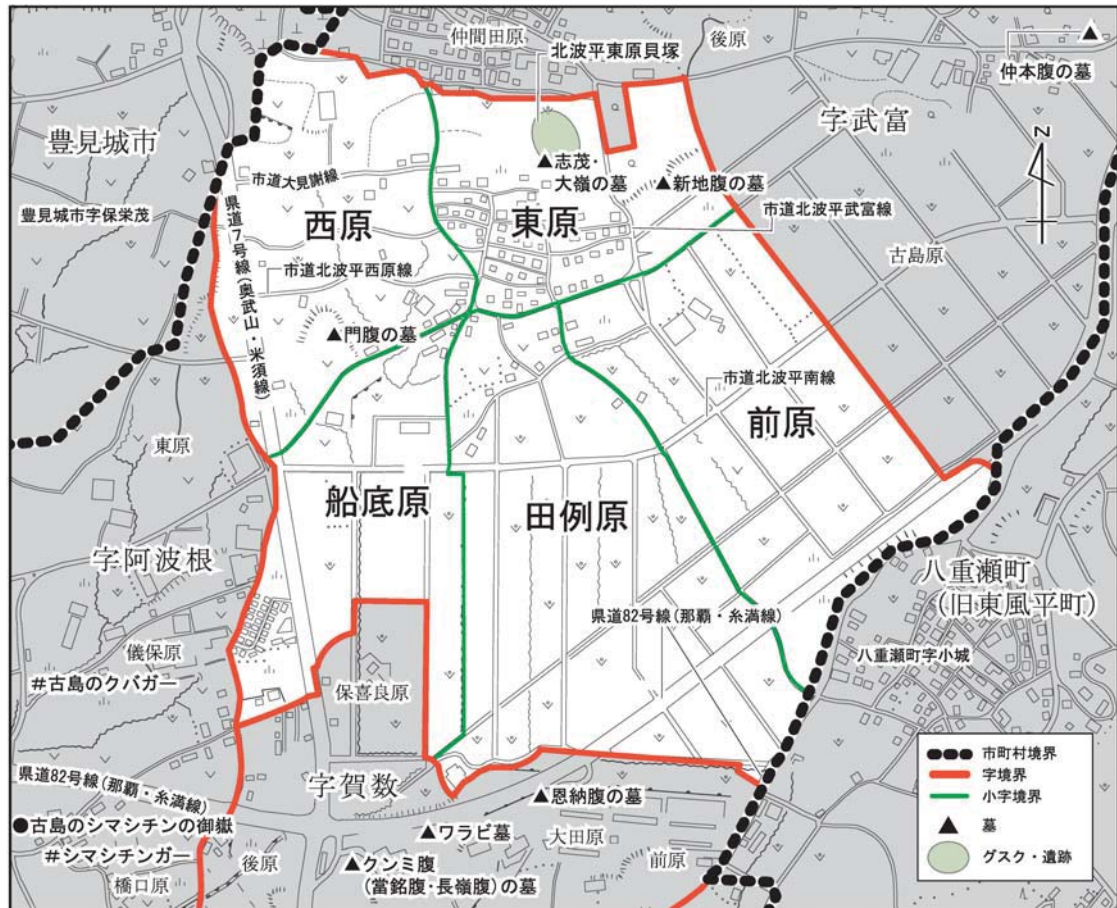


図1 字北波平の現況図

(2000年ごろの糸満市の地形図を元に作成)

2. 地名の由来

第1節 現況

1. 名称・併称

本来の字名は波平（なみひら）であったが、糸満町・兼城村・高嶺村・三和村合併後の1963（昭和38）年に北波平と名称を変更し、現在に至っている。方言ではハンジャといい、北隣の武富と併称してハンジャ・ダキドゥンという。

地名の由来について地元では聞き取ることができない。ハンジャ（波平）の語源は、文献によれば次のような説がある。

その一つは、はひら説で、東恩納寛惇の『南島風土記』によると、古くは『慶長検地帳』や『おもろさうし』に「はひら」とみえることから、ハンジャは、はひらの転化したものであるという。二つ目は、カンジャー（鍛冶屋）説で、伊波普猷や外間守善によると、琉球語の音韻変化の法則により、カンジャーのカンがハンになり、ハン